

稲毛がまた勝った。もはや日本のシモーネ。

日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドルディスタンス競技部門
2015年3月6日(土) 愛知県新城市

結果

男子ミドルディスタンス-5km ↑ 225m

1	松下睦生	0:37:32	京都大学
2	宮西優太郎	0:39:14	東北大学
3	糸賀翔大	0:39:15	東京大学
4	尾崎弘和	0:39:33	早稲田大学
5	福井悠太	0:39:58	東京大学
6	糸井川壮大	0:40:20	京都大学

女子ミドルディスタンス-4.1km ↑ 155m

1	稲毛日菜子	0:33:57	お茶の水
2	守屋舞香	0:37:04	椋山女学園
3	宮川早穂	0:39:31	立教大学
4	松田沙也加	0:42:23	岩手大学
5	阿部ちひろ	0:44:09	大阪大学
6	星美沙	0:44:19	椋山女学園



男子優勝・松下睦生（京都大学）

稲毛日菜子ぶっちぎり

ミドル競技で3分差は圧倒的。ぶっちぎりの速度と安定性で稲毛日菜子が優勝した。昨年のミドル競技での雪辱を果たした。2014年秋に行われたロング競技での優勝とあわせてインカレ個人二冠となった。



女子優勝・稲毛日菜子（御茶の水女子大学）

速い！松下睦生

松下睦生がロング競技に引き続きミドル競技も制した。松下は頭一つ抜け出した速度をコース全体で維持しているのだ。ライバルたちも時々光る走りを見せるのだが、コース全体を通じてその速さを維持できていない。

世界選手権から10年

会場となった鬼久保ふれあい広場（愛知県新城市）は2005年8月に世界選手権が開催された会場でもある。（当時は愛知県作手村）スイスの女子エース・シモーネが完全優勝を果たし、フランスの雄・ジョルジュが活躍した。

10年前の勇者たちは第一線を引退している。そして今、同じフィールドでインカレを走っているのは当時まだ小学生だった世代である。世界選手権の資産は10年を経て有効に活用されているのだ。2005年の世界選手権後、インカレ参加者数は一時的に減少したが、ここ最近はまだ増加傾向に転じている。（木村佳司）



女子2位の守屋舞香（椋山女学園大学）翌日のリレー競技では杉山女学園大学として優勝を果たす。